

命を助ける情報「ハザードマップ」

皆さまのご自宅に四日市市ハザードマップをお持ちですか、ハザードマップを見たことがありますか、ハザードマップには何が書いてあるかご存知ですか？

ハザードマップをお持ちでない方は、市役所や各地区市民センターで配布しているほか、市のホームページでも確認できます！



「ハザードマップ」とは

ハザードマップとは、災害の種類ごとに作成され、被害の想定される区域や程度、避難場所などの「[命を助ける情報](#)」が記載された地図です。

「ハザードマップ」の種類と含まれる情報

大矢知地区で想定される地震、大雨などの自然現象で発生する災害は、その種類により発生する場所、範囲、災害の程度などが異なります。

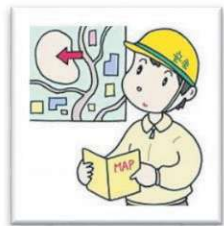
大矢知地区には、7種類の災害ハザードマップが作成されております。



No.	ハザードマップの種類	何がわかるのか？	大矢知地区では？
1	津波 (津波避難)	南海トラフ巨大地震を想定した、津波の高さ及び到達時間	地区東端、松寺、蒔田、西富田地区の一部が対象
2	洪水 (逃げどき)	河川の増水などにより堤防が決壊した時の浸水範囲と浸水深さ	朝明川の決壊を想定、一部を除き大矢知地区全域が対象
3	高潮	台風に伴う高潮による浸水範囲と浸水深さ	伊勢湾台風による被害が有名地区の東側半分が対象
4	内水氾濫	大雨時に排水路や下水道の排水能力を超えて雨水が処理できなくなった時の浸水範囲と浸水深さ	大矢知町北部及び川北町の農地が多い場所を除く地区全域が対象
5	土砂災害	大雨や地震などが引き金となって、山や崖(がけ)が崩れたり、土石流が起こる範囲	主に大矢知町周辺の山林及び斜面に近接する地域が対象
6	ため池	大雨や地震等により堤体が決壊した時の浸水範囲と浸水深さ	大矢知町に点在する庄作溜、新溜及び中溜の下流域が対象
7	地震	南海トラフ巨大地震を想定し、地震が発生した場合の震度と地盤が液状化する可能性を示す	地震の階級は全域で「6強以上」液状化危険度は、朝明川周辺及び東部の低地で「極めて高い」

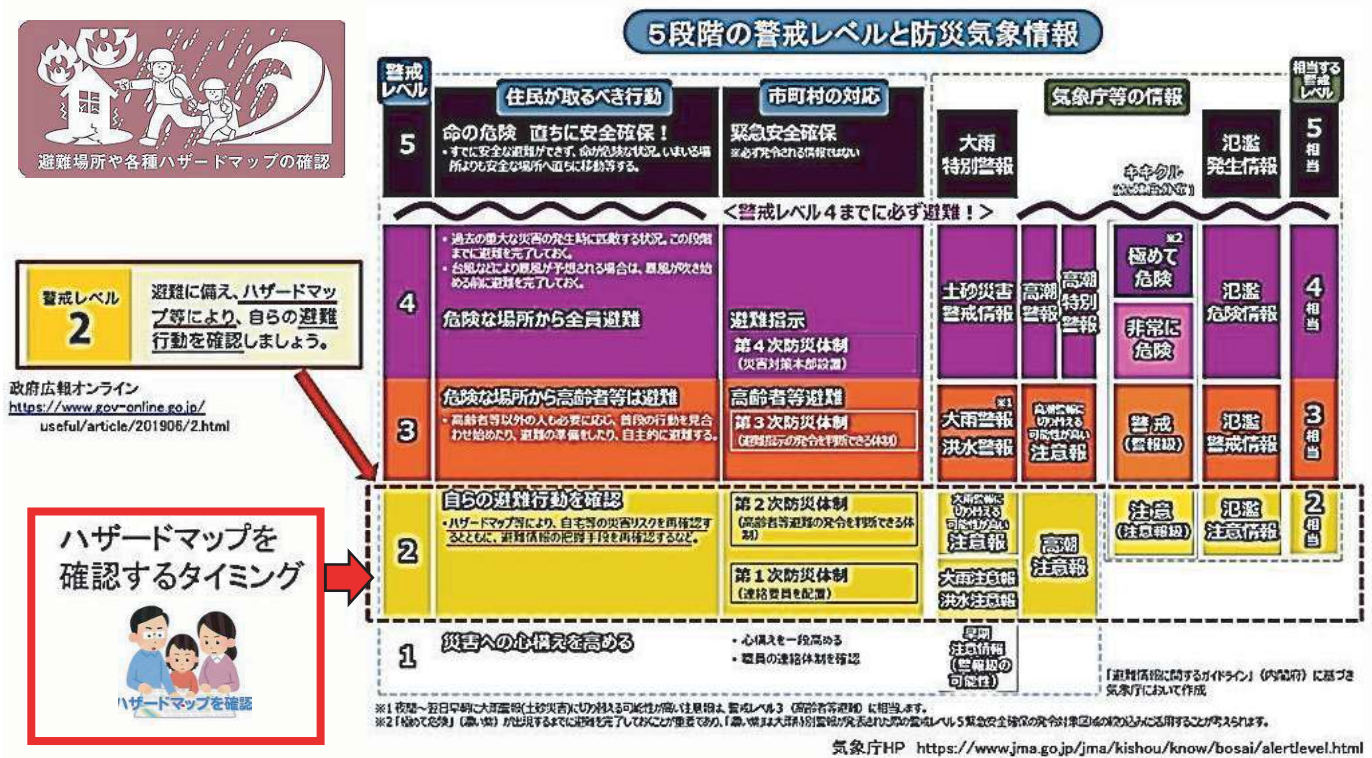
「ハザードマップ」の活用

ハザードマップの活用方法としては、まず自宅や職場、通勤・通学経路など、自分がよく行く場所のハザードマップを確認し、避難場所や避難経路がどこにあるか、どのようなルートで避難すればよいかを把握しておくことで、災害時に混乱することなく適切な行動を取ることができます。



・災害時におけるハザードマップと警戒レベルとの関係

災害発生時において、ハザードマップを確認するタイミングは、「[警戒レベル2](#)」の時です。



・洪水時の「逃げどきマップ」の見方

逃げどきマップは、洪水が発生した時に浸水する範囲と深さを示すとともに、その時の逃げどき判断及び逃げる方向を示した地図です。

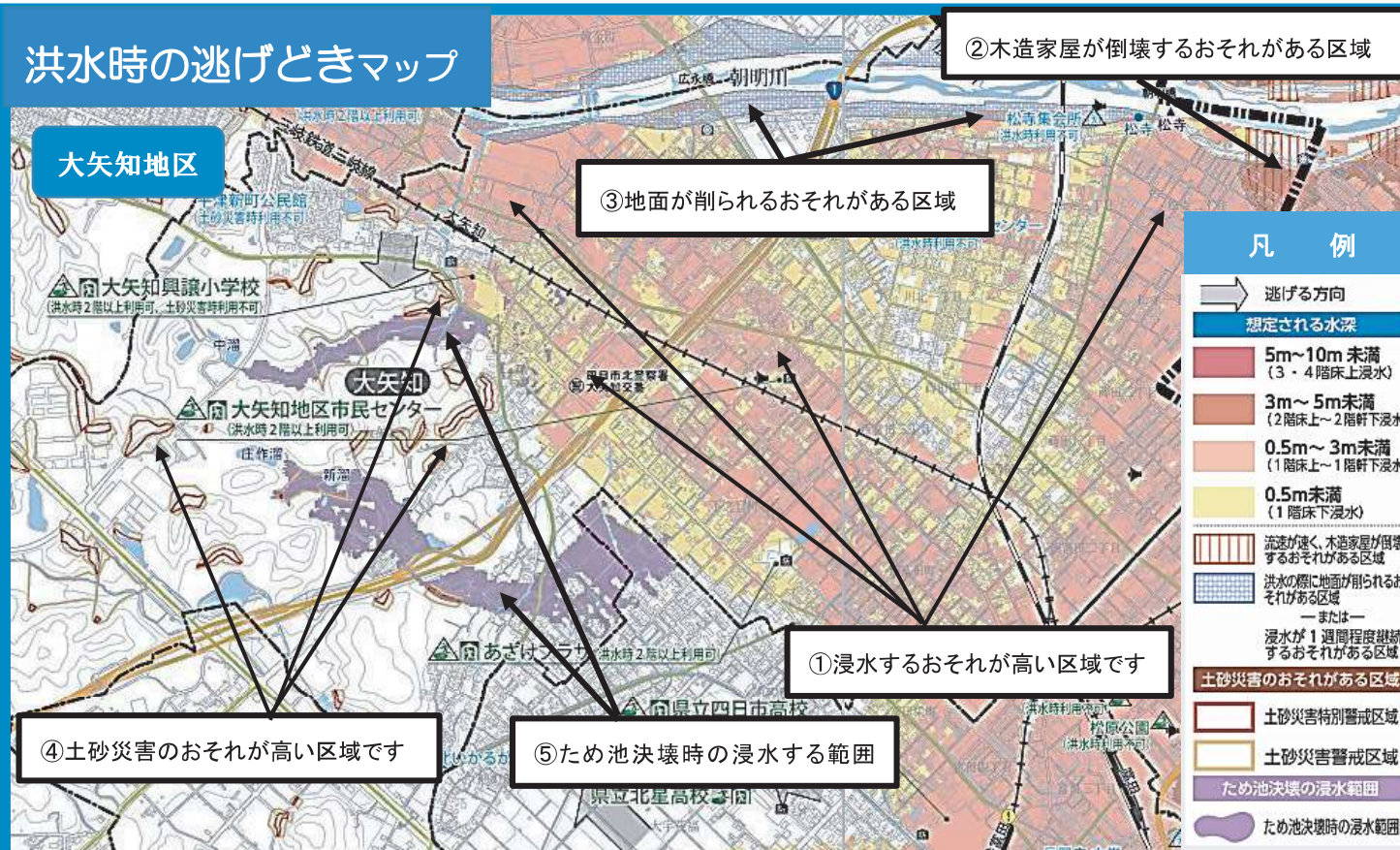
- 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、いつ、どこに逃げるかをご自身で考え、とるべき行動を確認してください。

(災害時要支援者や高齢者の方は、**安全な場所に早めに避難**を心がけてください)

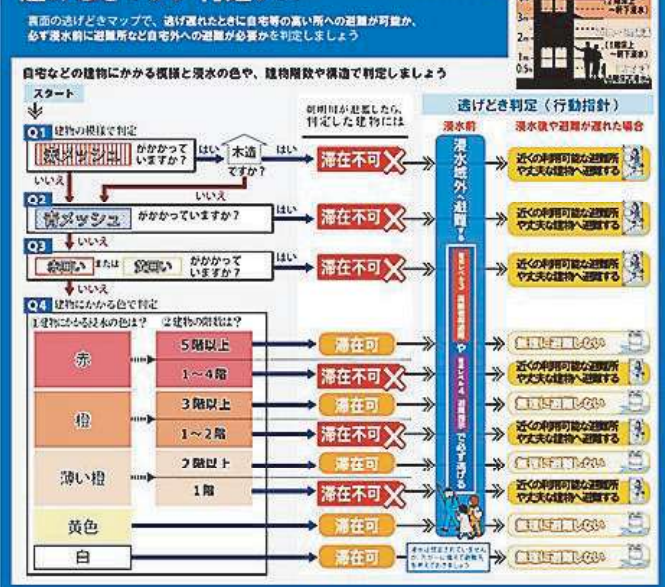
- 1 お住まいの地区の逃げどきマップを開く。
- 2 逃げどきマップ上で自宅の位置の色と模様を確認する。
- 3 裏表紙の裏の折込みを開き、判定フローで自宅を判定する。
- 4 判定結果をもとにあなたの避難行動を確認する。



洪水時の逃げどきマップ



逃げどきマップ判定フロー



過去の災害事例



「What we can do」～私たちにできること～

地震の知らせがあると、「南海トラフ地震ではないか」と不安になりますが、皆さんはまず何を考え、行動を起こしますか。自宅待機するのか、避難すべきか、何を持っていけばいいのかなど、普段から「**避難行動計画**」を立て自分の備えをしておくことが大切です。

家族一人ひとりがその時にいる場所、学校や保育園・幼稚園、職場、外出先などによって道路状況・公共交通など災害の有無により避難行動も変わってきます。

9月は防災月間、家族で話し合っ集合場所を決めておくこと、ひとり暮らしの方は、普段からご近所同士で交流を持ち、声掛け合っ行動できるようしておくで安心です。

また自治会や民生委員の方々、離れて暮らす家族とも情報共有しておきましょう。

前号では、自宅の安全確保について掲載しましたが、今回は避難することを前提に準備するものについて考えてみましょう。

非常持出し袋について

非常時には「逃げる」ことが優先されます。少しでも身軽なほうが動きやすいので両手が使えるリュックを使うと便利です。中には避難先ですぐに必要なものを入れておきましょう。

飲料水 食べ物 携帯トイレ（避難先には準備がないと想定）トイレットペーパー
タオル 常備薬・メガネ・コンタクトレンズ・補聴器・衛生用品
化粧品 着替え（下着など含む）歯磨きセット（歯磨きシート）
モバイルバッテリーなど 揃えたいものはたくさんありますが

食えること 排泄 睡眠 に関するものは最低限必要です。

特に**飲料水 携帯トイレ**は、多めに準備してください。

ただ、避難する際に荷物が重すぎ歩けないのは困るので一度背負って確かめてみましょう。また、避難所から自宅に帰っても断水・停電となれば、家には少なくとも

水1日3リットル×人数分×7日分 簡易トイレ1日5回分×人数分×7日分 を備蓄しておきたいものです。日頃の生活に戻れるにはかなりの日数がかかると考えてください。

女性や乳幼児にとって必要なもの （乳幼児がいる場合）

上記準備物以外にも 授乳用ケープ・乳児用ミルク・コップ・離乳食・紙オムツ・おしりふき・おもちゃ類・ウエットティッシュなど衛生用品・生理用品など必要です。



命を守る行動

早い避難
避難レベル3 高齢者等避難 や 避難レベル4 避難指示 で
危険な場所から必ず逃げる！
台風の接近や低気圧などによる大雨が予測される場合には、危険な場所から近づかず、浸水のおそれが少ない地域へ早めに避難しましょう。親戚や知人宅などへの避難も選択肢の1つです。



命を守る行動

逃げ遅れてしまったら...
浸水後もとどまれる **高くて丈夫な建物** へ
浸水の中を歩くことは危険です。逃げ遅れてしまったら、その場その場の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。
避難先として、**高い建物、高い場所、自宅の高いところ、近くの安全なところ** を探しましょう。
33～62ページの逃げどきマップで判定しましょう。



大矢知地区自主防災協議会のHP及び過去のレポートに関しては



トップページ

http://oyachi.sakura.ne.jp/oyachi_jisyubou/



レポートページ

http://oyachi.sakura.ne.jp/oyachi_jisyubou/03report/report.html

資料：四日市市HP「朝明川洪水ハザードマップ」から作成